



メソポタミア文明の源流をたどる

IRAQ



MEXICO

環境変化は文明の衰退や崩壊を招くのか？

いにしえの 世界を探る



EGYPT

古代エジプト3千年の墓を掘る



能登半島地震の被災文化財の現状

NOTO



JAPAN

現代に残る古代人の遺伝的「遺産」を探索する



キャンパスに刻まれた5千年の痕跡

KANAZAWA

金沢大学 古代文明・文化資源学フォーラム 2024

2024年 7月27日(土) 13:00-16:30

石川県文教会館 4F 401/402 会議室 (12:40 開場)

石川県金沢市尾山町10-5 金沢駅東口よりバス約10分「南町・尾山神社」下車徒歩2分

主催/金沢大学 古代文明・文化資源学研究所 <https://isac.w3.kanazawa-u.ac.jp/>



くわしくはこちら

対面形式

先着順にて
100名様まで
入場可

申込不要

左記の会場に
直接お越し
下さい

参加無料

中高生・学生
一般の方
対象



金沢大学
KANAZAWA

科研費
KAKENHI

いにしえの 世界を探る

金沢大学 古代文明・文化資源学フォーラム 2024

金沢大学は古代文明・文化資源学研究所を組織し、私たち人類の過去をめぐり多彩な調査研究プロジェクトを活発に展開しています。そのねらいの時空間的な広がり、文明誕生よりも古く遡る先史時代から近代・現代にいたるまで、そして日本列島のみならず新旧の大陸をまたぐ世界の各地にまで及びます。こうした活動の最新情報を中高生・学生・一般のみなさまにご紹介するため、昨年に引き続き今年も公開フォーラムを開催する運びとなりました。考古学・考古科学・文化資源学の糾合を目指して金沢大学が取り組んでいる、先端研究の最前線にふれてみてください。

プログラム

報告の要旨は研究所ウェブサイトに掲載しています
<https://isac.w3.kanazawa-u.ac.jp/event/event20240727.html> ⇒



13:00-13:05 開会挨拶

13:05-13:35 報告① 小高 敬寛（金沢大学国際基幹教育院 准教授）
メソポタミア文明の源流をたどる —イラク、シャカル・テペ遺跡の発掘調査

13:35-14:05 報告② 河合 望（金沢大学古代文明・文化資源学研究所 所長／新学術創成研究機構 教授）
古代エジプト3千年の墓地进行掘る —北サッカラ遺跡の発掘調査

14:05-14:15 休憩

14:15-14:45 報告③ 市川 彰（金沢大学古代文明・文化資源学研究所 准教授）
環境変化は文明の衰退や崩壊を招くのか？ —メキシコ、オアハカ州太平洋岸遺跡の発掘調査

14:45-15:15 報告④ 覚張 隆史（金沢大学古代文明・文化資源学研究所 助教）
現代に残る古代人の遺伝的「遺産」を探索する —パレオゲノミクスの新展開

15:15-15:25 休憩

15:25-15:55 報告⑤ 足立 拓朗（金沢大学古代文明・文化資源学研究所 副所長／教授）
能登半島地震の被災文化財の現状 —埋蔵文化財を中心として

15:55-16:25 報告⑥ 松永 篤知（金沢大学資料館 特任助教）
キャンパスに刻まれた5千年の痕跡 —金沢大学構内遺跡からみた先史・古代・中世・近世・近代

16:25-16:30 閉会挨拶

日時／2024年7月27日（土）13:00 – 16:30（12:40 開場）

会場／石川県文教会館 4F 401/402 会議室（石川県金沢市尾山町 10-5）

対面形式のみでの開催になります（オンライン配信などの予定はございません）。
申込は不要です。直接、会場までお越しください（先着順にて100名様まで入場できます）。
来場者用の駐車場はございませんので、なるべくバスなどの公共交通機関をご利用ください。



研究所の最新情報を
SNSで発信中！

主催／金沢大学 古代文明・文化資源学研究所 <https://isac.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

